

【広島市消費者物価指数】

1 平成22年10月の動向

- 広島市総合指数（100.5）は前月比で3か月連続の上昇。前年同月比は19か月分ぶりに下落を脱し同水準。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.1）は前月比で2か月連続の上昇。前年同月比は19か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.0）は前月比で2か月連続の上昇。前年同月比は19か月連続で下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.5	0.4	0.0
生鮮食品を除く総合指数	100.1	0.6	▲0.7
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.0	0.7	▲1.0

3 前月からの動き

～たばこ税率の引上げ等により諸雑費が上昇。食料、教養娯楽は下落。～

(1) 10大費目の動き

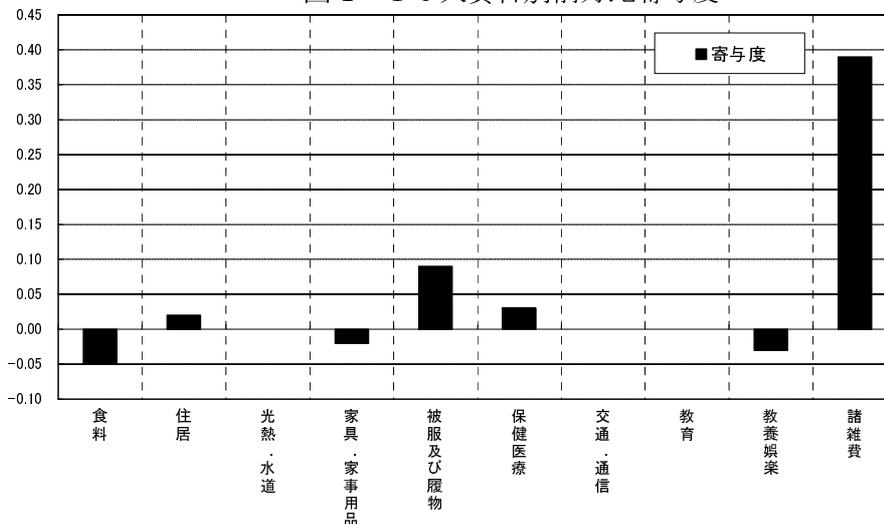
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.5	104.9	99.8	106.4	79.5	107.8	98.2	98.3	93.5	93.4	107.8
前月比 (%)	0.4	▲ 0.2	0.1	0.0	▲ 0.9	1.6	0.7	0.0	0.0	▲ 0.3	6.2
寄与度	0.4	▲ 0.05	0.02	0.00	▲ 0.02	0.09	0.03	0.00	0.00	▲ 0.03	0.39

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

諸 雑 費 : た ば こ (前月比 38.6%, 寄与度 0.25) 等

被服及び履物 : 洋 服 (前月比 2.8%, 寄与度 0.07) 等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
たばこ（たばこ[国産品] 等）	38.6%	魚介類（さんま 等）	▲6.3%
他の諸雑費（傷害保険料 等）	6.9%	教養娯楽用品（テレビ[薄型] 等）	▲1.5%
洋服（乳児服 等）	2.8%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲3.3%
野菜・海藻（たまねぎ 等）	1.3%	自動車等関係費（自動車保険料[任意] 等）	▲0.3%
穀類（あんパン 等）	1.1%	果物（バナナ 等）	▲1.3%

4 前年同月からの動き

～たばこ税率の引上げ等により諸雑費，食料等が上昇し，前年同水準に。～

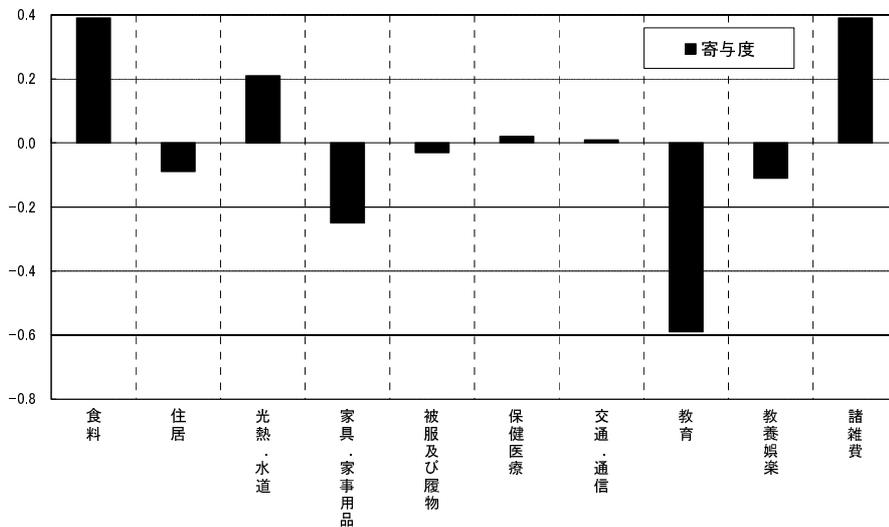
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.0	1.5	▲0.5	3.2	▲8.3	▲0.5	0.5	0.1	▲11.8	▲1.1	6.1
寄与度	0.0	0.39	▲0.09	0.21	▲0.25	▲0.03	0.02	0.01	▲0.59	▲0.11	0.39

(参考) 主要要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

教 育：授業料（前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58）等
 諸 雑 費：たばこ（前年同月比 38.6%，寄与度 0.25）等
 食 料：野菜・海藻（前年同月比 14.4%，寄与度 0.36）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
野菜・海藻（レタス 等）	14.4%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
たばこ（たばこ[国産品] 等）	38.6%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲15.9%
果物（レモン 等）	28.5%	教養娯楽用品（ペットフード[ドッグフード] 等）	▲3.6%
他の諸雑費（傷害保険料 等）	6.9%	教養娯楽用耐久財（テレビ[薄型] 等）	▲20.2%
ガス代（都市ガス 等）	6.9%	室内装備品（カーテン 等）	▲17.2%